

令和8年4月15日

TEL・FAX 0954-66-3113

発行責任者 江口常雄

きずな

す 住 み よ い げん き な 緑 の 郷 大 草 野 の

校長先生から「3つの種をプレゼント！」 入学式：4月9日(木)

目では見えないほどの細かい糸のような雨が、小学校に着くと、次第に大きくなってきました。どうやら、大草野小学校の荒川校長先生は、「雨男」のようです。今日は、令和8年度に入学する15人の児童たちの入学式です。卒業式の時には、体育館の後方に大きなストーブがあって、寒いと思ったときには、こっそり近づいて暖をとれましたが、さすがに今日は置いてありません。

荒川校長は、昨年の入学式では、「4つの約束」を守ってください、と話されました。今年は、「目には見えないけれど、3つの種を皆さんにプレゼントします。」と、切り出されました。

一つ目の種は、「賢さの種」です。…この種は、先生のお話をよく聞いているとよく育ちます。人のお話をしっかり聞きましょ！

二つ目の種は、「やさしさの種」です。…自分から進んで、「おはよう」、「こんにちは」、「ありがとう」などと、あいさつをすると、やさしさの種が大きく膨らんでくるそうです。

そして最後、三つ目の種は、「元気の種」です。…好き嫌いをしないで

何でもバランスよく食べていると、いつの間にか身体は大きく、そして健康なり、元気いっぱい動き回れると言うことです。校長先生の式辞は、いつも分かりやすくまとまっています。雨男は、お話を考えるのが上手なのではないでしょうか？ 私は、晴れ男なので、なかなか思うようにいきません。大草野小では、学校、保護者、地域が一つのチームとして、子どもたちを育てていきます。ぜひ皆様のご協力をお願いいたします。と、締めくくられました。



校長先生から、3つの種をプレゼント！



大草野コミュニティでは、この子どもたちが、大人になってから、「コミュニティのおじちゃんたちがいつもそばにいてくれた。」と思ってくれるような存在でありたいと思っていますし、この中から、私達の活動に喜んで参加してくれるようになってくれたらたいへんうれしく思います。小学校の教職員の皆さん、8年度も、コミュニティをよろしくお願いします。可愛い子ども達を、共に育てていきましょう。保護者の皆様、ご入学、おめでとうございます。



森永新教育部長、式浪の方です！

入学式前に 花壇の除草作業 をしました。(3月29日:日)

すっかり春めいてきました。大草野小学校の前を通りかかると、毎回、首を伸ばして花壇の様子を見ていたのですが、卒業式までは何とか見えていた花が、暖かさで勢いを増した雑草の成長で、花がすっかり見えなくなっていました。そこで、22日(日)の新幹線駅の清掃を担当した環境整備部会の、都合がつく皆さんに集まっていただき、除草作業をしていただきました。



手作業でしたのでちょっと時間がかかりました。

その方達には、下記に掲載しているソーラーライトの撤去作業も手伝っていただき、とても有り難かったです。感謝、感謝です!! 4月9日(木)には、入学式がありますので、それまでには何とか花が見えるようにしたかったのですが、おかげさまで、写真のようにすっかりキレイになって、特に、鮮やかな黄色がひと際目立っています。これで、希望に胸ふくらませて入学してくる1年生たちも、きっと喜んでくれると思います。参加していただいた皆さん、有り難うございました!

市政20周年記念事業 ソーラーライトを撤去しました。(3月29日:日)



持ち主の方、3か月間有り難うございました。

平成18年1月1日に嬉野市が誕生して20周年となるのを記念して実施された補助事業に、大草野コミュニティが「市政誕生祝賀ライトアップ事業」と題して取り組みましたが、12月末に設置して、ちょうど3か月が経過しました。

この間、皆さんには田んぼに設置したライトアップを楽しんでいただけたでしょうか?

学校のライトアップは、もう少しそのままにして、学校のご協力を得て、機会を見て、創立150周年記念バージョンに模様替えをしたいと思います。

今回、撤去したソーラーライトは、コミュニティで使用する分を残して、希望される区に均等に提供したいと思います。1行政区当たりどれくらいになるか調整をして、機会を見て 区長さん方に、希望の有無をお尋ねしようと思えます。もしばらくお待ちください。

第1回部会 開催期日のお知らせ

日 時	部 会 名	部 会 名
5月11日:月曜日 20:00~	総務・広報部会(1階)	公民館活動部会(2階)
5月12日:火曜日 20:00~	青少年育成部会(1階)	環境整備部会(2階)
5月13日:水曜日 20:00~	健康福祉部会(1階)	地域づくり部会(2階)

「これほどとは!...」
 へへ編集後記へ
 アメリカ大統領選挙前に、世界中が、「トランプが大統領になったら?」と怖れていたが、ここまでひどいと、皆が予想していたらどうか?
 自分の意見に反する者は、簡単に命さえ奪ってしまおう。
 子供達に、「そんなことをしてはいけない!」、という教育がこんな状況で果たしてできるのだろうか、と思う。
 テレビなどを見ながら、「トランプ、カッコイイ!僕も大人になつたら大統領になって、嫌いな奴はみんなやっつけてやる!」と思う子が、おそらくゼロではないのではないかと?
 我々世代は、大人から「末は博士か大臣か!」と言う言葉で将来を期待されていたが、「大統領にだけはなるな!」と教えないければならないようなふるまいた。かつて、世界のリーダーと言われた国も、地に落ちたものだ。ちょうど1年前の「きずな」の編集後記に「残念ないきもの」と題して書いていたが、ここまでくると、トランプの場合、「残忍な生き物ナンバーワン」と言えないだろうか?
 私の予想では、もうそろそろ正義の味方、ゴルゴ13、デューク東郷が、アメリカに向かってライフルの照準器をトランプに合わせようとしているのではないかと思う。と、こんなことを考えていたら、停戦になった。それでも、ヤンチャ坊主のネタニヤフには、要注意!